

寸言

三菱航空機株式会社
取締役社長
江川 豪雄



社長就任のご挨拶と抱負

本年4月1日付で、三菱航空機株式会社 取締役社長に就任いたしました江川 豪雄でございます。この度日本航空宇宙工業会会報「航空と宇宙」『寸言』でご挨拶を申し上げる機会をいただき深くお礼申し上げます。

昨年設立された三菱航空機は名古屋市に本社を置き、70～90席クラスの次世代リージョナルジェット機MRJ (Mitsubishi Regional Jet) の開発・製造・販売及びカスタマーサポートを行う会社です。(製造は三菱重工業㈱に委託)

私たちの関わる航空宇宙産業は未来に通じる、新時代にふさわしい産業であり、技術を磨き、技術で勝負する企業が活躍できる産業であると思っております。製造業は、先進国では高度な技術の開発と活用への特化が進んでいます。日本でも、これからは先進技術の開発と活用がますます重要になると考えます。その一翼を担うMRJの責任者を拝命し、非常に光栄に思っております。

私は1967年以来40年以上、三菱航空機の親会社である三菱重工業 (MHI) に勤務し、この間に防衛庁向けの航空機の営業と航空機部長を務めました。後に米国三菱重工業 (Mitsubishi Heavy Industries America, Inc.) の社長、さらに、MHIの海外戦略本部長も務めております。営業活動は私が最も注力してきたことであり、航空機とその他の最新技術製品の販売戦略、特に、海外への販売戦略に全力を注いできました。

前社長の戸田 信雄は、取締役副会長として、私と共にMRJプロジェクトを引っ張っていきます。

他にも私をサポートする役員チームがおります。役員と約900名の三菱航空機の従業員の力、そして世界一流の30社ものMRJのパートナーの力を束ねて強力な開発力と販売力を作り出すことが私の務めだと思っております。

私が好きな言葉に「Working Together」というものがあります。それは、三菱航空機の役員・従業員とパートナーが一丸になってMRJの成功に取り組むとすることだけではなく、お客様と一緒にMRJの成功に取り組もうという意味です。お客様のご意見にしっかりと耳を傾け、お客様のご希望を活かし、お客様にMRJの仕様、性能、カスタマーサポートをはじめあらゆる点に満足していただくことが、最高の航空機を作り、最高の運航をしていただくための最高の方法だと思っております。

先月パリで開催されたエアショーでは当社は実物大の客室モックアップと3Dによるデモンストレーションを行い、私も当社シャレールに来訪されたエアライン・リース会社幹部の方にご挨拶をする機会がありました。お客様の数も一昨年、昨年に比べ格段に増え、活発な意見交換を行うことができ、MRJへの高い関心と期待を感じました。

三菱航空機の信念は、MRJを、エアラインの方々はもちろん、乗客の方々にとっても、リージョナルジェット機のスタンダード機として、世界中で愛されるジェットに育て上げることです。それは、これから20年以上をかける壮大なプロジェクトです。今後とも皆様の温かいご支援をいただけますようお願い申し上げます。